

NOSAKA CONSTRUCTION

CSR REPORT
2021-2022

野坂建設株式会社

野坂建設株式会社

〒808-0144 福岡県北九州市若松区高須東3-6-9
TEL：0120-947-570

http://www.nosakakensetsu.co.jp

2021-2022 CSR REPORT OUTLINE

野坂建設 CSRレポート2021-2022

INDEX

［ 目次 ］

P1 …… 目次・編集方針
P2 …… トップメッセージ
P3 …… 会社概要
P4 …… 会社沿革
P5-8 …… 事業案内
P9-10 …… ビジョン・CSR方針
P11-14 …… KPI
P15-16 …… マテリアルバランス
P17-18 …… CSV：やさしくうつくしい住環境を創る
P19-20 …… E：やさしくうつくしい自然を守る
P21-22 …… S：やさしくうつくしい繋がりを深める
P23-24 …… G：やさしくうつくしい職場を創る
P25-26 …… 野坂建設のコンセプト

EDITORIAL POLICY

［ 編集方針 ］

［ 報告対象組織 ］野坂建設株式会社
［ 報告対象期間 ］2020年6月～2022年5月（※一部対象期間外を含む）
［ 発行日 ］2022年11月30日
［ 参考ガイドライン ］
環境報告ガイドライン 2018年版、エコアクション21ガイドライン2017年版、SDGコンパス
［ お問合せ先 ］野坂建設株式会社 / 担当：渡邊
〒808-0144 福岡県北九州市若松区高須東3丁目6番9号
TEL：0120-947-570（フリーダイヤル）
FAX：093-701-5266
E-Mail：info@nosakakensetsu.co.jp



TOP MESSAGE

野坂建設株式会社 / 代表取締役　野坂 輝和

新体制初年度のCSRレポート

今回は、2020年度と2021年度の2年分のCSR(企業の社会的責任)をまとめたCSRレポートを発行する運びとなりました。前回のレポートでも報告しましたが、2020年2月に発生した新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い社会情勢は一変し、新しい時代に合わせる形でCSRもリニューアルを行いました。新しい体制、新しい目標を社員みんなで設定し運用を行った初年度のレポートになります。

強くたくましい人財でCSR推進

社会情勢の変化はコロナだけに留まらず、ロシアのウクライナ侵攻やそれに伴う円安、物価や燃料高騰など、今まで捉えていなかった外的要因も私たちの生活やビジネス環境に影響を及ぼしています。これからの時代、より広い視野で情勢を掴み、先手先手で自分たちの行動を一つずつ変化させることが重要だと、身にしみて感じています。
この想いは、改定した人事ポリシー「強くたくましい人」に通じています。瞬く間に変化していく社会に合わせて、スピード感と柔軟性を持って対応し、成果を出せる人財を増やしていくことは、引き続き経営者としてのミッションであり、私ができる社会貢献の一つです。これを実現していくために、2021年度は新しい評価制度の運用も開始しました。自らで考え、自らで律し行動していくことこそ、CSRの更なる推進にも繋がると感じています。

ESG課題の解決、CSVに注力

当社のCSV、ESG課題の解決に向けて策定しているKPIについて、2021年度は特にG・ガナバンス面の目標達成ができました。コロナ禍が続く状況でリモートワークは更に定着し、関連して進めているDX（デジタルトランスフォーメーション）化の効果も出ています。更なるDX化は、社員が集中して働ける環境を創り、一人一人の付加価値の向上につながります。私たち中小企業でも今後のデジタル革命の大波を乗り越えられるよう、社員のリスキング環境を整え、雇用の創出、維持に努めます。E・環境面では、環境事業の木くず受入量が増加しましたが、今までの技術・ノウハウを活かし、最適な運用を行うことができております。S・社会面では、コロナ禍におけるステークホルダーとのコミュニケーションを考え、実行に移すことができました。
ESG課題への対応は着実に歩みを進めることができた中で、CSVに更なる力を入れていく必要があります。建設事業は、数年かけて当社の住宅ブランドを見直し、形が整ってきました。頼もしいスタッフも増え、地域の皆様のよりよいくらしにアプローチしていきたいと思います。
目標達成・未達成とばらつきがありますが、全体のマネジメント機能は進化しており、結果に伴った要因をしっかりと掴んだ上での改善が見られます。自走するCSRも引き続き推進してまいります。

ステークホルダーと共に

社会が変化し続ける渦中で、今、私が感じているのは、ステークホルダーの皆様の重要性です。皆様と共に手を繋ぎ発展していくことが、当社の最重点項目だと感じています。
今後も、コミュニケーションを積極的に図り、共に持続可能な未来を拓いていけるよう邁進してまいります。本レポートを是非ご一読いただき、忌憚ないご意見を賜りますよう、お願い申し上げます。

COMPANY OUTLINE

会社概要

[商　　号] 野坂建設株式会社

[代 表 者] 野坂 輝和

[設　　立] 1972年

[資 本 金] 4,000万円

[従業員数] 19名

[所 在 地] 本社 / 福岡県北九州市若松区高須東3丁目6番9号
水巻支店 / 福岡県遠賀郡水巻町杁2丁目1番13号
ゆめ環境 / 福岡県遠賀郡遠賀町大字尾崎1712-45

[許 認 可]
・建設業許可　福岡県知事(特-4)第25068号
（建築工事業・とび土木工事業・水道施設工事業・解体工事業）
・建設業許可　福岡県知事(般-4)第25068号
（土木工事業・舗装工事業）
・産業廃棄物処分業（福岡県/第04020058381号）
・産業廃棄物処理施設設置（福岡県/第646号）
・産業廃棄物収集運搬業（福岡県/第04000058381号）
・一般廃棄物処理業（遠賀・中間地域広域行政組合/第5号）
・一般廃棄物処理施設設置（福岡県/第79号）
・肥料販売業務（福岡県/第2160号）
・特殊肥料生産業者（福岡県/4920号）

[加盟団体]
・一般社団法人JBN・全国工務店協会北部九州工務ネットワーク
・特定非営利活動法人 日本樹木リサイクル協会
・NPO法人 九州環境カウンセラー協会
・公益社団法人 福岡県産業資源循環協会
・一般社団法人 北九州市建設業協会
・福岡県土木組合連合会 北九州支部
・一般社団法人 倫理研究所 福岡県倫理法人会
・公益社団法人 若松法人会
・水巻町商工会
・北九州SDGsクラブ
・ふくおか3Rメンバーズ

HISTORY of COMPANY

会社沿革

1971年　7月 --------- 野坂建設 創業
1972年　4月 --------- 野坂建設有限会社へ資本金100万円にて組織変更、野坂作次就任
1985年　3月 --------- 代表取締役　野坂時夫就任
1990年　3月 --------- 野坂建設株式会社へ組織変更、資本金3,000万円に増資
1999年　2月 --------- 資本金4,000万円に増資
2002年 12月 --------- リサイクルセンター「ゆめ環境」設置
2005年　9月 --------- 国土交通省 平成17年度 地域における中小・中堅建設業の新分野進出促進モデル構築支援事業選定
2006年　1月 --------- 岩国バイオマス発電所に発電用燃料としてチップを納品
2006年　5月 --------- 『ゆめ育土』福岡県リサイクル製品として認定
2007年　8月 --------- 代表取締役　野坂輝和就任
2008年 10月 --------- 3R推進協議会 平成20年度 リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰
「河川敷等の維持管理で発生する刈草のマテリアルリサイクル」で会長賞受賞
2011年 12月 --------- 福岡県子育て応援宣言事業所登録
2013年　3月 --------- エコアクション21認証登録
2014年　6月 --------- 本社を移転
住宅事業部『夢空間』開始
10月 --------- 3R推進協議会 平成26年度 リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰
「地域で発生する木くずリサイクルの実施」で会長賞受賞
2015年 10月 --------- 優良性評価制度基準適合（福岡県・処分業）
2016年　8月 --------- ゆめ環境 事務所リニューアル
2017年　1月 --------- モデルハウスオープン（水巻町緑ヶ丘）
3月 --------- エコアクション21 対象範囲拡大で認証取得(水巻支店追加)
4月 --------- 宅地建物取引業開始
2018年　7月 --------- Kingにんにく JASオーガニック認証取得
11月 --------- 発電利用に供する木質バイオマスの証明に関わる事業者認定 取得
2019年　3月 --------- 中間市、遠賀郡4町と遠賀・中間地域広域行政事務組合とで災害廃棄物の処理関する協定締結
6月 --------- Kingにんにく・くろ JASオーガニック認証取得
6月 --------- 一般廃棄物処分業許可に災害廃棄物(木くず) 追加
2020年　9月 --------- モデルハウスオープン（遠賀町田園）
2021年　7月 --------- 本社事務所リフォーム
8月 --------- 建築廃材リサイクル雑貨店「Otto」始動
11月 --------- 北九州SDGs登録制度 第一次登録
11月 --------- モデルハウス（水巻町下二西）LIXIL「Compe de Lasissa2022」九州ブロック賞受賞
2022年　3月 --------- 経済産業省 事業継続力強化計画 認定取得
7月 --------- ふくおか健康づくり団体事業者宣言

OUR BUSINESS.01

環境事業

新たな製品へリサイクル

暮らしのなかで必ず発生する廃棄物。
私たちはその廃棄物をリサイクルし、地域の暮らしを支える製品をつくっています。







● 木くずリサイクル

道路や河川保全で発生した草木、建物解体等で発生した木材、災害時に発生した木くずなどの収集運搬およびリサイクル処理を行っています。当社施設にて選別・破砕を行い、バイオマス発電用の燃料や堆肥の原料に生まれ変わり、100%リサイクルされます。

リサイクルフロー

産業廃棄物	一般廃棄物
・解体材　・パレット ・型枠　・マクラ木 ・電柱　・焼け木　など	・草　・樹木 ・竹　・根株 ・災害廃棄物　など

選別 → 検査 → 破砕 → 選別



発電用燃料　肥料材料

許可情報

・産業廃棄物処分業（福岡県）優良
・一般廃棄物処分業（遠賀・中間地域広域行政事務組合）
・産業廃棄物収集運搬業（福岡県）

樹木伐採・解体サービス

庭や道路脇、河川沿いなどの樹木伐採や、建物等の解体・撤去も行っております。伐採した樹木等は当社施設でリサイクル処理し、その他は協力会社で適正に処分を行い、皆様の次なる暮らしを創造します。

OUR BUSINESS.02

地域事業

農業でやさしい地域を創造

野坂建設も地域市民の一人です。
農業を通じて、この遠賀川地域ならではのやさしさのあふれるまちづくりを目指しています。



● にんにくの栽培・販売

地元地域と連携し、約2500坪の圃場でオリジナルブランド「Kingにんにく」を栽培しています。Kingにんにくは、JASオーガニック認証を取得しており、有機栽培にも取り組んでいます。生産品は水巻町にある夢工房にてお買い求めいただけます。



生産品目



Kingにんにく
一般的なにんにくの約5倍もの大きさで、水分が多くジューシーな味わいと匂いが少ないことが特徴。ホクホクした食感を楽しめます。



Kingにんにく・くろ
Kingにんにくを高温高湿な環境で熟成させたものです。熟成すると糖度・抗酸化作用のある成分が増加。健康促進が期待できます。

栽培・販売はグループ会社の有限会社ゆめ環境にて実施しています。

ときじい ファーム

遠賀川が近くを流れる、水巻町にある「とき爺ファーム」でKingにんにくを栽培しています。畑の一部では、土壌改良材による生産実証試験地としても活用。産学民で連携した共同研究を行っており、新たな視点からの地域農業発展への貢献も目指しています。

研究名「微細藻類を用いた土壌改良材による高付加価値でかにんにくの生産実証試験」
（統括責任研究者：東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科 教授 江口 文陽）



● 堆肥の製造

当社にて処理を行っている一般廃棄物を活用し、土壌改良材「ゆめ育土」を生産しております。遠賀川河川敷の除草作業や造園業の樹木伐採工事から排出された草や樹木を使用し、化学薬品を使わず地球に優しい、安心安全の100%リサイクル商品です。



OUR BUSINESS.03

建設事業

くらしの礎をつくる

毎日の生活を支える住まい。その住まいを構成する素材や空間づくりなど
ひとつひとつにこだわり、ライフスタイルの実現をサポートします。



●新築・注文住宅

省エネで災害に強く長持ちする家で、安心して快適に過ごしていただいたけるよう、さまざまな仕様をラインナップしております。
お客さまに寄り添いながら、夢が実現する空間を提案します。



夢空間の家づくり CONCEPT

yume ku kan 夢空間

夢
壁や窓の断熱と
太陽や風など自然の力で
家を快適にしていきます。

空
地震、火災などの災害に
強い仕様で安心して
暮らせる家にしていきます。

間
結露や防虫対策と自然素材に
こだわり、家にも人にも環境に
もやさしい家を実現します。

POINT.1

安心して暮らすための3つの性能

❶省エネ ❷災害に強い ❸長持ちする
という3つの観点から、取り残されない家づくり
を考えます。

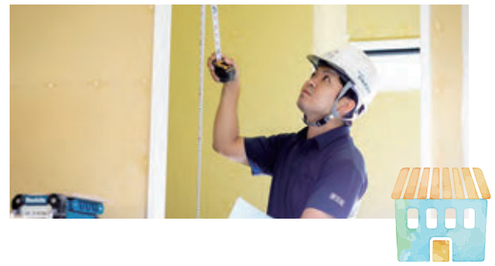
POINT.2

愛されるデザイン

カッコいい家には、たくさんの人が集まり愛される
空間になります。家族が笑顔になる家、友達に自
慢したくなる家をデザインで実現します。

●オフィス・商業建築

その会社のポリシーや経営者の想いを形にする方法として、オフィスや店舗などの建物があると考えています。
まずは想いをお聞かせいただき、想いを基にデザインから施工まで一貫してサポートしています。また、事業計画作成支援やキャッシュフロー及び補助金活用のアドバイスも行っています。



オフィス

企業の拠点であり象徴となるオフィスは、事業活動に合わせて機能的で働きやすいことはもちろん、その企業ならではの空間をつくることが重要です。企業が大切にしているポリシーを表現するオフィスづくりをサポートしています。

CASE 01 株式会社ツネミ 様



建材販売・廃棄物処理・地域お助け隊など、北九州市で地域環境を良くする事業を展開されているツネミ様の事務所を建築しました。

POINT.1 地域のコミュニティ施設になるような設計

POINT.2 居心地良く働きやすい空間づくり

商業施設

飲食店や雑貨店など、取り扱う商品が輝き、オーナーもお客様も居心地の良い空間は愛される店舗につながると考えています。じっくりお話を伺い共に設計していくことで、オーナーのこだわりを空間づくりをサポートします。

CASE 02 ROASTER'S LABO 様



行橋市でコーヒー豆の焙煎研究・販売をしているROASTER'S LABO様の新しい店舗を建築しました。コーヒーを楽しめるスペースも設けています。

POINT.1 モールテックのカウンターでカッコ良く

POINT.2 マスター自慢の焙煎機が見える大きな窓

住宅事業に関わる有資格

- 建築士(2級)
- 建築施工管理技士(1級)
- 土木施工管理技士(1級)
- 宅地建物取引主任者
- 防蟻防腐施工認定施工者
- 排水設備責任技術者
- 測量士補
- 福岡県被災宅地危険度判定士
- 福岡県被災建築物危険度判定士
- 木住協・リフォーム診断員
- 既存住宅状況調査技術者
- 増改築相談員
- 損害保険募集人一般試験基礎単位
- 木造ハウジングコーディネーター

Vision・CSR方針

Vision　地域の輝きをつなぐプラットフォーマー

自然との調和が保たれている住宅で暮らし、
生活で出る廃棄物は地域でリサイクルされ、
農業やエネルギーなど様々な形で地域に還元される。

野坂建設は、このような「やさしくうつくしいくらし」がある地域を目指しています。

そのためには、組織の持続可能性を高め、
様々な社会課題の解決が必要です。
事業活動やCSR活動を通じて社会課題の解決に貢献し、
地域の輝きを創造できるよう活動を推進しています。



CSR方針

当社事業における重要度とステークホルダーからの期待を踏まえて、事業に伴う影響にESGの観点から対応していくCSRと、事業を通じて社会課題の解決を目指すCSVの2つで重点項目を設定しています。また、重点項目とSDGsとの関連付けも行い、持続可能な社会の実現を目指していきます。

事業活動を通じた社会課題解決への挑戦 → CSV重点項目

- やさしくうつくしい 住環境を創る

事業に伴う影響に対応 → CSR重点項目

- E やさしくうつくしい 自然を守る
- S やさしくうつくしい 繋がりを深める
- G やさしくうつくしい 職場を創る

マネジメント体制

- 代表取締役
  - CSR・EA21委員会（責任者：川元 恭子）
    - 未来デザイン室
    - 経営推進部
    - 環境事業部
    - 住宅事業部
    - 企画開発部
  - CSR・EA21事務局（事務局長：原 浩二）

KPI

代表者による全体評価と見直し・指示

総評

新型コロナウィルス感染症は引続き私たちの事業活動に大きく影響をもたらしました。また、2022年2月にはロシアがウクライナに侵攻し、資材や燃料調達に少なからず影響が出ました。これまでは、企業の外部環境としては国内事情を踏まえることが主でしたが、このような世界の微妙なバランス崩壊も、今後私たちの企業経営の外的要因としてとらえていかなければいけないと実感しました。いかに内部環境を整えて、強い組織をつくっていかなければいけないと感じています。

2021年度は環境事業において、近隣の同業者の廃業に伴う受入れ増、また建設事業においては大型案件の受注により、過去最高の売上高を更新できました。採用においては、会社の理念やビジョンに共感した4名が入社し、環境経営を推進し次世代に向けた取り組みの成果が出ているだと感じています。

このような外部環境の影響は、デメリットだけではなくメリットも出てきています。以前は実行が難しいと思われた社員のリモートワークも定着しつつあり、DXへ取り組む優先順位が上がりました。設備投資についても、売上増や固定費の削減だけでなく、環境負荷削減の観点からの提案も増えてきています。環境問題を自分ごと化する意識が向上してきていると感じています。

各部門の次年度事業計画についても、一年間をしっかりと振り返り、我社の付加価値を上げていくための計画立案になっています。今後はより責任感を持ったマネジメントを進め、全社一丸となって目標達成をして成果を分かち合いたいと思います。

評価・見直し

CSR・EA21委員会運営がスムーズにでき、遅れや漏れなく3カ月に一度の見直し・改善ができていました。結果、2021年度は昨年度と比較しても全体的により良い結果に繋がりました。大きく目標未達の住宅新築案件については、自社のブランディングがほぼ完成し、SNSを通じての集客活動に大きくシフトした一年となりました。今後は2022年4月に再取得した宅建業務を活用した建売を新たな軸に加え、私たちの提案するライフスタイルをユーザーに発信できればと考えています。

2020年度の見直し項目

❶社内の個々の能力と組織力の向上に伴い、CSR・EA21委員会委員長の以下の権限を新たに付与する。

・研修費用決裁権　・委員の評価基準の設定とその評価　・報奨制度の運用権

結果 マネジメントに効果有り

❷小型発電設備の設置検証(散水時電力削減の為)

結果 継続して情報収集する。併せて事業継続力強化計画(中小企業庁)の認定も受け、蓄電池設備の設置検討を進める。

❸DXによる社用での移動時間の削減

・2021年度下期にDX委員会を設置し情報収集完了。2022年度に予算計上し、取締役会にて承認後実行に移す。

❹カーボン・オフセット

・住宅の使用エネルギーの算出は継続する

今後の課題・目標

- **使用燃料について環境負荷の少ない軽油代替燃料の検討**
- **燃料チップの運送業務の内製化**
- **DXによる業務の効率化。特に社員移動時間の削減や顧客満足の向上**
- **建設事業の黒字化**
- **一般廃棄物の受入れ体制強化と品目の追加**

2020年度

※1:事業活動における直接的環境影響:◎, 間接的環境影響:○　※2:赤字は令和元年度結果を踏まえて改善・強化した取組内容
※3:[評価内容]　◎:目標達成(120%以上)　○:目標達成(100%以上)　△:取組実施・目標未達　×:取組未実施

重点項目	社会課題	関連するSDGs・GOAL	KPI	対象範囲	EA21※1	取組内容※2	2020年度目標	2020年度結果	評価※3
やさしくうつくしい住環境を創る									
	地域における住環境の課題解決		夢・空・間住宅 年間建築棟数	建設事業	○	①モデルハウス建築 ②定期イベントによる集客仕組化 ③住宅仕様の追求 ④HP等メディアでの情報発信	7棟	2棟	△
			リフォーム・ リノベーション 施工件数	建設事業	○	①自然素材リフォームの提案 ②定期イベントによる集客仕組化 ③大型リフォームの商品化	平成30年度 実績維持	維持	◎
			刈草・伐採枝・ 解体木くずの 廃棄物処理受入件数	環境事業	○	①敷地内より国道に向けての自立看板の設置 ②自社車両の側部に広告設置 ③チラシ配布により集客活動実施 ④既存顧客や新規見込み顧客への訪問営業実施	11,600件	16,786件	◎
やさしくうつくしい自然を守る									
	CO_2排出量の削減		売上当たり 電気使用量	事務所 現場	◎	①未使用時の電気消灯の徹底 ②設備電気不要時の負荷遮断 ③節電シール等の表示 ④設備のアイドリング ⑤残業時間の削減検討 ⑥昼休みの消灯 ⑦LED照明の導入	前年比 1%削減	前年比 30%増加	△
			売上当たり 燃料使用量 (ガソリン・軽油)	【ガソリン】 事務所	◎	①アイドリングストップの徹底 ②「エコドライブ10のすすめ」を車内に掲示 ③重機の定期検査	前年比 1%削減	前年比 19%増加	△
				【軽油】 破砕施設 現場	◎	④破砕作業の効率的実施 ⑤破砕機稼働後の清掃	前年比 1%削減	前年比 34%増加	△
	廃棄物削減と適正処理		社員一人当たり 一般廃棄物排出量	事務所	◎	①廃棄物の分別徹底 ②リユース・リサイクル推進活動の展開 ③排出量の秤量管理 ④5S活動の実施	前年比 1%削減	前年比 25%削減	◎
			産業廃棄物 再資源化率	現場	◎	①廃棄物管理を強化し排出実績を分析 ②分別方法の見直し ③リサイクル委託先の見直し	前年比 3%向上	前年比 0.6%向上	○
	水資源の確保		廃棄物受入量当たり 水使用量	環境事業 事務所	◎	①洗浄作業の見直し検討 ②節水コマの取付 ③節水シールの表示 ④中間処理施設の計画的散水 ⑤調達と利用状況の見直し	前年比 1%削減	前年比 2.8%増加	△
	グリーン購入の推進		グリーン購入法適合 製品導入品目数	全体	◎	①5S活動による備品の在庫管理徹底 ②購入予定時の調査検討	36品目	36品目	○
	環境配慮型製品の採用		環境配慮型製品の 購入	全体	○	①環境配慮型ノベルティの製作 ②環境配慮型製品の導入	導入実施	導入なし	△
やさしくうつくしい繋がりを深める									
	ステークホルダーとの繋がり		地域ボランティア 活動参加回数	全体	◎	①自社周辺道路の清掃活動実施 ②地域開催活動・イベント等への参加	4回	4回	○
			地域との協働件数	全体	○	①地域イベントへの協賛や参加 ②地域開催のセミナー等での登壇	2件	2件	○
			ステークホルダー向け イベント実施	全体	○	①ステークホルダー感謝祭の開催 ②Kingにんにく収穫祭の開催	実施継続	未実施	×
	次世代の教育		環境教育実施	全体	○	①小学校での環境教育実施	実施継続	未実施	×
			キャリア形成 活動実施	全体	○	①リサイクル部門における中学生職場体験受入 ②中学校においての出張職業講話講師	実施継続	未実施	×
やさしくうつくしい職場を創る									
	人財開発		新規採用数	全体	○	①社内外教育への参加奨励 ②資格取得支援の実施 ③評価制度の導入 ④採用活動の実施	採用1名	採用2名	◎
	働き方改革		有給休暇 取得日数	全体		①取得実績の個別管理表作成 ②取得日数の少ない社員へ奨励 ③業務効率化に向けたシステム導入	70日	73.5日	○
	安全な施工体制		労働災害 発生件数	全体	○	①日常的なKY活動・ヒヤリハット活動の徹底 ②安全パトロールの実施 ③現場における5S活動実施 ④災害防止対策の立案と防災訓練等の実施 ⑤安全大会の開催	0件	0件	○

KPI

2021年度

※1：事業活動における直接的環境影響：◎, 間接的環境影響：○　※2：赤字は令和元年度結果を踏まえて改善・強化した取組内容
※3：[評価内容]　◎：目標達成(120%以上)　○：目標達成(100%以上)　△：取組実施・目標未達　×：取組未実施

重点項目	重要社会課題	関連するSDGs	KPI	活動内容	対象範囲	EA21 ※1	2021年度 目標	2021年度 結果	評価 ※3	2022年度 目標	2023年度 目標
やさしくうつくしい住環境を創る											
	廃棄物		廃棄物 中間処理後 搬出量	①チラシ配布による集客活動実施 ②既存顧客や新規見込顧客への訪問営業実施	環境事業	○	前年比 490t 増加	前年比 1857t 増加	○	前年比 490t 増加	前年比 490t 増加
	顧客の安全衛生 防災・減災 自然災害		SW住宅・ 高気密高断熱 住宅 年間建築棟数	①田園モデルハウスへの来場活動実施 ②定期イベントの開催 ③SNS,HP等メディアでの情報発信 ④新生活様式(ニューノーマル)に沿った住宅仕様等の提案・発信	建設事業	○	7棟 完工	2棟 完工	△	8棟 完工	9棟 完工
	地球温暖化 エネルギー 大気への排出		ZEH住宅 年間建築棟数	①田園モデルハウスランニングコストデータ収集 ②ZEH取組をSNS,HP等メディアで情報発信 ③ZEHアプローチブックの運用、ロープレの実施	建設事業	○	3棟 完工	2棟 完工	△	4棟 完工	5棟 完工
やさしくうつくしい自然を守る											
	地球温暖化 エネルギー		売上当たり 電気使用量	①未使用時の電気消灯の徹底 ②設備電気不要時の負荷遮断 ③設備のアイドリングストップ ④残業時間の削減検討 ⑤昼休みの消灯 ⑥太陽光発電設備の設置検討	事務所 現場	◎	前年比 1%削減	前年比 16%削減	○	前年比 1%削減	前年比 1%削減
	地球温暖化 エネルギー 資源の枯渇		売上当たり 燃料使用量 (ガソリン・軽油)	①アイドリングストップの徹底 ②「エコドライブ10のすすめ」を車内に掲示 ③重機の定期検査 ④破砕作業の効率的実施 ⑤破砕機の清掃 ⑥電気リフトの導入検討	【ガソリン】 事務所 【軽油】 破砕施設 現場	◎	前年比 1%削減	前年比 41%削減	◎	前年比 1%削減	前年比 1%削減
	廃棄物		社員1人当たり 一般廃棄物 排出量	①廃棄物の分別徹底 ②リユース・リサイクル推進活動の展開 ③排出量の秤量管理 ④5S活動の実施	事務所 現場	◎	前年比 1%削減	前年比 14%削減	○	前年比 1%削減	前年比 1%削減
	廃棄物		産業廃棄物 再資源化率	①廃棄物管理を強化し排出実績を分析 ②現場分別の強化 ③リサイクル委託先の見直し	現場	◎	前年比 3%向上	前年比 5%低下	△	前年比 3%向上	前年比 3%向上
	水と排水		廃棄物 受入量当たり 水使用量	①重機や車両等の計画的洗車実施 ②破砕作業時の計画的散水 ③雨水の活用検討	環境事業 事務所	◎	前年比 1%削減	前年比 19%削減	○	前年比 1%削減	前年比 1%削減
	調達慣行		グリーン購入法 適合製品 導入品目数	①5S活動による備品の在庫管理徹底 ②購入時の調査・検討	全体	◎	36品目	42品目	○	36品目	36品目
	調達慣行		環境配慮型 製品の導入	①環境配慮型ノベルティの製作 ②環境配慮型製品の導入	全体	○	導入 実施	導入 無し	△	導入 実施	導入 実施

重点項目	重要社会課題	関連するSDGs	KPI	活動内容	対象範囲	EA21 ※1	2021年度 目標	2021年度 結果	評価 ※3	2022年度 目標	2023年度 目標
やさしくうつくしい繋がりを深める											
	地域活動・ ボランティア 地域 コミュニティ		地域との 協働件数	①対象月第1週目に各拠点で地域清掃実施 ②地域開催のセミナー等での登壇 ③地域開催のイベント等への参加 ④地域団体やイベント等への協賛や寄付	全体	○	6件	8件	◎	6件	6件
	地域 コミュニティ		ステーク ホルダー向け イベントの開催	①社外のステークホルダー向けイベントの開催 ②社内のステークホルダー向けイベントの開催	全体	○	実施 継続	実施	○	実施 継続	実施 継続
	地域コ ミュニティ		環境教育実施	①小学生への環境教育実施	全体	○	実施 継続	未実施	×	実施 継続	実施 継続
	地域 コミュニティ		キャリア形成 活動への参画	①環境事業部における中学生職場体験受入 ②中学生向け出張職業講話講師の実施	全体	○	実施 継続	実施	○	実施 継続	実施 継続
	防災・減災 被災地支援		BCP更新	①防災・避難訓練の実施 ②BCP勉強会の創意工夫開催 ③防災グッズ・備蓄品の棚卸 ④BCP文書の更新	全体	○	1回/年	1回 更新	○	1回/年	1回/年
	防災・減災 被災地支援		BCP パートナー シップ件数	①BCPにて重要な協力会社をリストアップ ②協力会社にBCPパートナーシップの提案・協議 ③BCPパートナーシップの契約締結	環境事業	○	3件	3件	○	4件	5件
やさしくうつくしい職場を創る											
	労働安全衛生		労働災害 発生件数	①月一回の安全会議 ②資格取得(労働安全衛生法による安全衛生教育他) ③ヒヤリハット報告書の提出 ④終業時に滞留物の場内点検の実施(火災・天災防止) ①安全会議の開催 ②下請け安全教育の実施 ③現場安全パトロールの実施	全体	○	0件	1件	△	0件	0件
	雇用と教育		新規雇用人数	①社内外教育の参加奨励 ②資格取得支援の実施 ③評価制度による適正評価とキャリアアップ支援 ④採用活動の実施	全体		2名	4名	◎	2名	2名
			社員1人あたり 有給休暇 取得日数	①取得実績個別管理表での取得日数管理 ②1人あたりの生産性の指標設定	全体		5日 以上	5.76日 以上	○	6日 以上	7日 以上
	経営環境の変化 スピード 働き方改革		事務部門 1人あたり テレワーク 実施日数	①テレワークの実施スケジューリングと管理	事務所		1日/月	1.2日/月	◎	2日/月	3日/月
	経営環境の変化 スピード		業務改善 採択件数	①4つのテーマで業務改善提案の奨励と評価・運用 (コンプライアンス、CSV、BCP、時短)	全体		8件	19件	◎	8件	8件

マテリアルバランス

※1：INPUT「エネルギー」使用におけるCO₂排出量を算定。（使用排出係数：電気ー0.000337t-CO₂/kWh、ガソリンー2.32t-CO₂/kℓ、軽油ー 2.58t-CO₂/kℓ）
※2：リサイクル率＝サーマルリサイクル量+マテリアルリサイクル量/総排出量

2020年度

INPUT

■エネルギー

電気	21,770 kWh
ガソリン	8,092 ℓ
軽油	97,176 ℓ
水	1,283 ㎥

■建設資材

生コン	2.4 t
セメント	0.3 t
真砂土	22.4 t
切込砕石	50.4 t
砂	1.7 t

■受入廃棄物

産業廃棄物	2,778.7 t
一般廃棄物	5,988.7 t

建設事業　環境事業　地域事業






OUTPUT

■CO₂排出量※1

276.82 t-CO₂

■一般廃棄物排出量

115 kg

■住宅関連施工件数

108 件

■建設廃棄物

廃プラスチック類	5.9 t
木くず	22.3 t
金属くず	2.8 t
紙くず	3.7 t
がれき類	22.1 t
ガラスくず等	0.7 t
コンクリートくず	147.3 t
廃石綿等	3.0 t
石膏ボード	3.2 t

■中間処理後廃棄物

発電燃料として再生	5,808.0 t
堆肥へ再生	2,510.1 t
リサイクル率※2	100%
リサイクル率※2	86.4 %

■製品製造数

Kingにんにく	3.0 t
Kingにんにく・くろ	1900パック

2021年度

INPUT

■エネルギー

電気	29,463 kWh
ガソリン	9,186 ℓ
軽油	91,830 ℓ
水	1,314 ㎥

■建設資材

生コン	11.8 t
セメント	0.02 t
真砂土	123.2 t
チップ	5.0 t

■受入廃棄物

産業廃棄物	3,134.0 t
一般廃棄物	6,028.0 t

OUTPUT

■CO₂排出量※1

268.16 t-CO₂

■一般廃棄物排出量

106 kg

■住宅関連施工件数

88 件

■建設廃棄物

廃プラスチック類	12.7 t
木くず	12.5 t
金属くず	4.6 t
紙くず	10.9 t
がれき類	0.4 t
ガラスくず等	1.1 t
コンクリートくず	7.8 t
廃石綿等	7.7 t
石膏ボード	0.1 t

■中間処理後廃棄物

発電燃料として再生	6,976.0 t
堆肥へ再生	2,769.0 t
リサイクル率※2	100%
リサイクル率※2	84.0 %

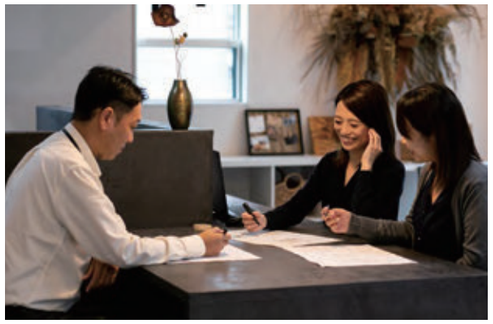
■製品製造数

Kingにんにく	2.6 t
Kingにんにく・くろ	1600パック

やさしくうつくしい住環境を創る

01 モデルハウスで住環境の提案

人生においても大きな買い物である住宅。やさしくうつくしい暮らしに貢献できる住環境をご提案するために、遠賀地区に2つのモデルハウスを建築しました。ウィズ・コロナでの生活、長持ちする住宅性能、心躍るるデザインなど、新しい暮らし方の提案を随所に織り込んだモデルハウスになっています。
私たちの家づくりを実際に見て・触れて・体感していただける空間になっておりますので、是非皆様お越しください。



田園モデルハウス 取り残されない家



断熱性能を測るUA値0.44、気密性能を測るC値0.46、省エネ等級6を誇る高気密・高断熱・省エネの住宅です。とことん性能にこだわり、時代に取り残されない家となっています。実際に住環境を味わっていただくために、宿泊体験も行っています。

下二西モデルハウス デザイン×性能の家



カッコ良さと家計や住民に優しい性能を兼ね備えた家です。ウィズ・コロナでの住環境として、玄関に手洗い場や在宅ワークを想定した書斎も備えています。インテリアが映える間取りとカッコ良さにこだわった建材、住んでからも光熱費をとことん抑えた性能設計になっています。

当社の家づくりへの想いや施工事例などは
WebサイトやSNSをご覧ください。

Webサイト

instagram

02 LIXIL「Compe de Lasissa2022」九州ブロック賞受賞

夢空間の住宅づくりにおいて、建材等を使用しているLIXIL様の施工事例コンテスト「Compe de Lasissa 2022」で、九州ブロック賞を受賞しました。
今回受賞したのは、水巻町下二西にあるモデルハウスです。キャメルのソファをメイン家具として決め、その印象に合わせて『大人ヴィンテージ』をコンセプトに他の家具やインテリアをコーディネートしていきました。機能的かつお施主さまのイメージあったデザインなど、納得のいく住宅や空間づくりをこれからもご提案していきます。





03 木くず前処理設備の導入

以前より検討していた、木くずの前処理設備を導入しました。この設備は、木くずの中に混入している金属などの異物除去と粗破砕を行うものです。デモ機にて検証を行い、品質の高い木チップができることを確かめ、地域の皆様にも同意いただき、この度、本格導入することになりました。
前処理工程を経て作られる木チップは、堆肥やバイオマス発電のエネルギー源としてリサイクルされます。高い品質を確保し安定したリサイクル環境を維持し、環境保全へ貢献できるよう、これから運用していきます。



04 刈草のリサイクルで農福連携を支援

障がい者の就労支援などを行う、社会福祉法人 北九州市手をつなぐ育成会様に、刈草をリサイクルした堆肥の提供を行っています。2018年からスタートしたこの取り組みは、育成会様の施設利用者の方々が社会で活躍できるよう、幅広い分野から真の自立支援をサポートされている想いに共感してはじまったものです。
提供した堆肥は、八幡西障害者地域活動センターで、農福連携事業として運営されている圃場で活用いただいております。2021年は合計91tの堆肥を提供しました。
当社のリサイクル事業を通じて、さまざまな人が活躍できる社会形成に貢献できるよう、今後も継続してまいります。



やさしくうつくしい自然を守る

01 環境マネジメントシステム：エコアクション21の運用

2013年より、エコアクション21(策定：環境省)を用いた環境マネジメントシステムを構築し、環境配慮の取り組みを行っています。当社事業活動にて発生する環境影響を分析した上で計画を策定し、環境配慮活動を推進しています。
2021年からは、環境活動を推進していくエコアクション事務局のメンバーを刷新し、新しい体制で運用をスタートしました。各事業部から担当者が加わり、より現場に沿った環境負荷の把握と活動の推進を図っていきます。

®環境省
エコアクション21
認証番号 009161



エコアクション21 対象範囲（認証・登録範囲）

[対象組織]野坂建設株式会社
[対象活動]土木工事業、建築工事業、舗装工事業、とび土工工事業、水道施設工事業、産業廃棄物処理業、一般廃棄物処理業、土壌改良材生産販売

環境方針

環境理念

私たちは、自社の付加価値を発揮した事業活動を通じ、ステークホルダーに対して地球環境にやさしい暮らし方の提案を行い、未来のうつくしい地球環境を創造します。

環境理念

❶やさしくうつくしい住環境を創る
・自然共生の住宅等インフラ整備
・木質資源の有効活動の研究開発
・持続可能な都市(環境)づくりの推進

❷やさしくうつくしい自然を守る
・事業活動に必要な水・エネルギー資源の省力化
・事業活動に伴い排出される廃棄物抑制
・環境配慮型商品の採用

❸やさしくうつくしい繋がりを深める
・環境啓発イベントの開催と地域ボランティアへの参画
・ステークホルダーへの感謝とさらなる連携強化
・自然災害など有事に対しての対応の円滑化

❹やさしくうつくしい職場をつくる
・自らのいきがいとお客様への誇り、家族への感謝をもって仕事できる環境改善と整備
・人材教育・キャリア形成と適正な人事考課及び分業の仕組運用
・安全第一な職場形成に向けた労働安全衛生教育の強化

令和元年6月1日 野坂建設株式会社 代表取締役　野坂 輝和

環境関連法規

当社に適用となる環境関連法規は以下の通りです。内部監査にて評価を実施しております。

法令
・浄化槽法
・騒音規制法
・振動規制法
・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
・資源の有効な利用の促進に関する法律
・特定家庭用機器再商品化等の促進に関する法律
・使用済自動車の再資源化等に関する法律
・計量法
・オフロード法
・国等による環境物品の調達の推進等に関する法律
・地球温暖化対策の推進に関する法律

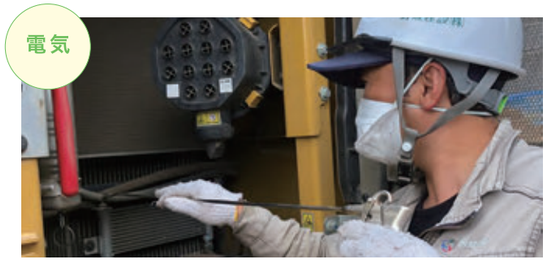
条例
生活環境保全条例
森林環境保全条例

その他規制
福岡県北九州県土整備事務所

令和3年度の事業活動については、環境関連法規を適正に遵守していることを確認し、違反はありませんでした。また、関係機関からの違反の指摘、利害関係者からのクレームや訴訟も過去3年間はありません。

02 CO_2排出量削減にむけて

電気



事務所の電気使用量は、継続した節電の取り組みにより横ばいでしたが、ゆめ環境での木くず受入量増加に伴い、設備メンテナンスにおけるコンプレッサー使用頻度が増加しています。今後、最適な使用頻度を見極めていきます。

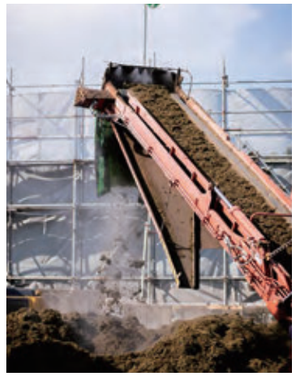
燃料



ゆめ環境ではリサイクルした木チップやおがくずを効率よく運搬するために、収集運搬車両として4tコンテナ車を導入しました。これにより、運搬に伴う燃料使用量を約5%削減することができました。

03 水使用量の削減に向けて

リサイクル施設のゆめ環境では、処分業務中の粉じん防止の目的で散水を行っています。近年の受入量増加に伴い、水の使用量は多くなっていますが、計画的・効率的な散水を行うことで、受入量あたりの使用量を抑えることができました。今後も適切な使用を行っていきます。



04 グリーン購入の推進



業務で使用する事務用品を中心に、環境に配慮した製品を優先的に購入する「グリーン購入」を推進しています。長年取り組みを継続しており、合計36品目を定番として購入するスキームが出来上がっています。また、49期は更に製品検討を進めて42品目のグリーン購入を実施しました。

05 アップサイクル・リサイクルブランド『Otto』立ち上げ

住宅事業で発生する建築廃材をアップサイクル・リサイクルするブランド『Otto（オット）』を設立しました。
アップサイクル・リサイクルとは、廃棄物や使わなくなったものを、新しい素材やより良い製品に変換して価値を高めるリサイクル手法のことです。住宅やオフィスの建築などでは、木材やタイルなどの建築端材が発生し、廃棄物として排出しています。その廃棄物に手を加え、木材を時計や写真たてに、タイルをコースターにと、新しい暮らしを彩るインテリア雑貨に生まれ変わらせています。
また、お客様が自分でオリジナルのアップサイクル雑貨を制作する工作イベントも開催し、リサイクルについてお客様と共に考える機会もつくっています。



やさしくうつくしい繋がりを深める

01 カブトムシの里プロジェクトに刈草チップを提供



北九州市八幡西区の光貞台自治区会様が取り組んでいる「カブトムシの里プロジェクト」に、ゆめ環境の刈草チップを提供しました。子どもたちにもっと地元の自然と生き物に親しんでもらう機会を増やすプロジェクトで、提供した刈草チップは、数ヶ月間かけて腐葉土となり、カブトムシが産卵しやすい環境になります。また、こどもの日には「カブトムシ幼虫探し」イベントも開催され、当社社員も家族と共に参加させていただきました。
自然と生物多様性の溢れる環境を次世代に繋いでいくことに少しでも貢献できればと、活動を継続して参ります。

02 パートナーと花火大会開催



北九州市門司区にある当社事業のパートナーの株式会社ツネミ様と共催で、2021年11月27日に花火大会を開催しました。例年、ステークホルダー感謝祭を開催しておりましたが、コロナ禍の状況でどのような形で感謝を伝えるイベントができるかを考えた結果、ソーシャルディスタンスが保て、多くの方に楽しむことができる花火大会という形になりました。
当日は77名の方にご参加いただき、社員で設営や出店の運営を行いました。花火も約150発を打ち上げ、近隣住民の皆様にも大変喜んでいただきました。

03 外部での講演実施



当社のサスティナビリティ経営に関心を持ち、お招きいただいた外部での講演に積極的に参加しています。2022年5月10日には、長崎経済同友会佐世保地区の例会において、「野坂建設のSDGs経営」と題して事例発表しました。CSRやSDGsの考えを経営に取り入れた背景から社内浸透に向けて行ってきたことなど、代表の野坂と未来デザイン室の渡邊より、経営視点・現場視点の2つの側面から発表しました。
今後も積極的に講演を行い、サスティナビリティの考え方の普及に貢献できるよう努めてまいります。

04 地域清掃活動の実施



地域社会の一員として、当社拠点のある北九州地域と遠賀地域の清掃活動を継続して行っています。2021年度は運用の見直しを行い、地域開催の清掃活動参加に加えて、自主的な清掃活動も定期的に実施しました。道路脇や側溝に落ちているゴミ拾いや草刈りを行い、刈草はゆめ環境でリサイクルしています。
地域の方から「ありがとう」と声をかけていただくこともあり、貴重なコミュニケーションの機会にもなっています。今後も継続して実施していきます。

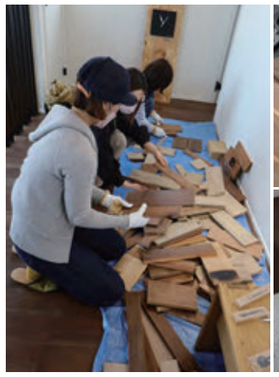
05 モデルハウスを活用したイベント開催

遠賀町田園にある夢空間モデルハウスを活用した、地域の皆さまと触れ合い交流できる場づくりとして、定期的にイベントを開催しています。





2022年5月に開催した「家族で楽しむマルシェ ○tto.（まるっと）」では、自家焙煎コーヒーやハンドメイド雑貨など、10を超える出店者様にご協力いただき、100組以上の方々にご来場いただきました。





建築廃材ブランド「Otto」の主催で、木材端材を使った時計や椅子づくりなどの木工教室を開催しています。親子で参加いただくことが多く、自分だけのオリジナル作品ができ、毎回満員御礼となっております。

06 福岡県警察第二機動隊の訓練場所提供

2017年より、福岡県警察第二機動隊の皆さまに、当社ゆめ環境のリサイクル施設敷地を訓練場所として提供しています。
災害現場を想定し、足元の悪い環境や木材に覆われた中での救助を訓練に活用いただきました。また、第二機動隊長より感謝状もいただきました。
福岡でも毎年災害が発生しており、災害時の早期復旧は身近な社会課題の一つです。この地域のレジリエンス向上に貢献できるよう、今後も連携していきたいと思います。



07 「北九州ゆめみらいワーク2021」に参加

北九州地域で学び育った学生が、早い段階から仕事や進学について考え、地元の魅力を知るイベント「北九州ゆめみらいワーク」に、福岡県資源循環協会の一員として参加しました。
当日は、ものづくりを支え資源をつなぐ「資源の守り人」と題して産業廃棄物処理業界についての講演やブース出展を行いました。業界のことや具体的なお仕事体験を紹介し、社会インフラの一部であることを多くの学生にお伝えできたと感じています。



やさしくうつくしい住環境を創る

01 「業務改善提案制度」スタート



2021年度より、新しい取り組みとして「業務改善提案制度」をスタートしました。
この制度は、より良い組織へ進化していくことを目的として、①コンプライアンス、②CSV（自社と社会の共有価値の創造）、③BCP、④時短の4つのテーマにおいて、業務改善を全社員が提案し採択されたものを運用していくものです。
年間で28件の提案があり、そのうち19件が採択されました。また、より高い効果が期待できる提案には「社長賞」として表彰しました。

業務改善提案事例

■健康経営・感染症病気休暇

現状と課題 私たちは、自社の付加価値を発揮した事業活動を通じ、ステークホルダーに対して地球環境にやさしい暮らし方の提案を行い、未来のうつくしい地球環境を創造します。

改善提案 感染症であれば、特別有給休暇として病気休暇を設けることで、従業員が休んだ場合も、安心して心身の疲労を回復しゆとりある生活を保護できる。

■LINE WORKSでのタスク管理

現状と課題 外出先や帰社時間などを口頭で伝えているため、スタッフ全員と共有できていない。また、各自のスケジュールが部内で共有できていない。

改善提案 LINE WORKSのカレンダー機能を活用し、スケジュール管理だけでなくタスク管理も行うことで、コミュニケーションを円滑にし業務効率を上げる。

02 安全衛生活動



環境事業や建設事業では、危険が潜んでいる作業も多く、安全衛生の推進を行っています。
日常的な予防活動に力を入れており、作業前のKY（危険予知）や災害につながりそうな事象を記録し共有するヒヤリハット活動を行っています。建設現場においては、協力会社様の安全も確保していくために、安全パトロールも強化しました。点検表を用いてパトロールを行い、結果はすぐに共有し、是正指示・改善を図っています。安全を確保し、スタッフの安心に繋がるよう尽力していきます。

03 BCP（事業継続計画）の運用



当社では2019年よりBCPを策定し、有事に備えて運用を行っています。毎年計画書の見直しを行い、計画書の理解を深めたり、計画のブラッシュアップを行っています。
2021年2月には、計画に基づいた避難訓練を実施しました。大規模地震を想定し、策定した手順に沿って避難経路や初期対応の訓練を行いました。また、当社の中核事業復旧に重要な軽油等の燃料確保に向けて、調達先3社とのパートナーシップを締結し、より強固なものへと進化しています。遠賀地区の災害協定を締結している企業として、BCPの運用から組織のレジリエンス強化を図っていきます。

04 働き方改革に向けて

■キャッシュレス決済の導入

ゆめ環境では、現金でお支払いされる方のニーズに応えるために、電子決済システム「PayPay」を導入しました。
専用のQRコードを読み込むことで決済でき、キャッシュレスで支払い手続きができると好評いただいております。また、当社事務工数の削減に繋がっており、今後はキャッシュレス決済の普及にも力を入れていきます。



■各種手当の充実

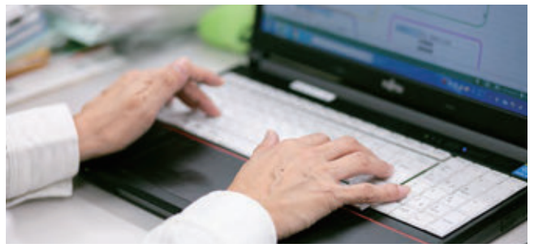
新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、私たちの暮らしに変化がありました。これを受けて、今までの福利厚生も時代に応じたものにする必要があると考え、各種手当の見直しを行いました。
社員の声を聞きながら、今必要なものを精査していき、新しい手当もでき、社員の満足度向上にも繋がっています。

新設した手当（一部）

- **健康促進取組手当**
  健康のために宣言した取り組みについて補助
- **社外活動手当**
  PTAやスポーツチームなど、地域活動の参加促進
- **昼食補助手当**
  栄養士監修のお弁当代を補助

■テレワークの推進

事務部門ではテレワークを取り入れた働き方の推進を行っています。リモートデスクトップシステムを導入し、毎月シフトを組んでテレワークを実施。出社で行う業務、テレワーク時に行う業務とメリハリをつけて仕事に取り組んでいます。テレワーク時はより集中して業務が行えており、部門計画の進捗度が格段にアップしました。



■DX委員会の設置

働き方改革を進めていくには、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進が重要になると考え、「DX委員会」を立ち上げました。まず、総務・労務業務のテレワークに向けたDX化は完了しました。現在は、業務の範囲を広げ更なるDX化の拡大に向けて、現状把握から改善策の協議・検討を行っています。



07 新評価制度の運用開始

新型コロナウイルスによる社会の変化を受けて改訂した人事ポリシー「強くたくましい人」を育んでいくために、新評価制度を構築し、2021年度に本格運用を開始しました。
自らで考え行動し、結果が出せる人材に成長していくことで、チーム・会社も成長していくと考えています。今一度、マネジメント体制と身につけるスキルを精査した上で評価制度を構築していきました。
これから運用を定着させ、着実に成長していける環境を整えていきます。



NOSAKA CONSTRUCTION CONCEPT

このまちのくらしを
もっとやさしく、うつくしく。

たおやかな川の流れと緑の風。
自然と人とが共生するこのまちで半世紀。
私たちは地域と共に営みを続けてきました。

くらしの基本である家を建てる。
草木をリサイクルして肥料やエネルギーに変える。
野菜や果物を育てて収穫する。

毎日の生活に寄り添って、
こうした良好な循環を広げることが
私たち野坂建設の使命です。

まちの人々の笑顔のために、
愛すべきこのふるさとをもっとやさしく、うつくしく。

人と地域をめぐる「ありがとう」が
よりよい未来を創ります。

GREEN PRINTING JPPI
VEGETABLE OIL INK
Printing Naturally
FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C005319